2014학년도 중등학교교사 임용후보자 선정경쟁시험

일 본 어

수험 번호 : (　　)　　**성　명 : (　　)**

제 1차 시험	3교시 전공B	6문항 40점	시험 시간 90분

○ 문제지 전체 면수가 맞는지 확인하시오.
○ 모든 문항에는 배점이 표시되어 있습니다.

※ 答えはすべて日本語で書くこと。

서술형 【1 ~ 4】

1. 〈A〉の下線部「七五三」を説明し、このような子供のための日本の伝統行事を一つ挙げなさい。また、〈B〉を参考に、〈A〉のⓐとⓑに該当することばを漢字または仮名で書きなさい。[5点]

〈A〉

日本全国にはおよそ８万５千もの神社があるといわれている。それだけ神社は日本人の生活に密接に関わっている。正月の初めには「初詣」に出かけたり、11月15日には、「七五三」のために参詣したりする。また、「お宮参り」の際にも神社に詣でたりする。

神社には、神を祀ったり神事に仕えたりする神主や巫女と呼ばれる人たちがいる。神社の入口には鳥居があり、境内では狛犬が見られる。また、(　ⓐ　)を奉納したり、(　ⓑ　)を引いたりする人もいる。

〈B〉

- (　ⓐ　)は、祈願やお礼参りの際に、社寺に奉納する絵入りの額や板絵をいう。
- (　ⓑ　)は、神仏に祈願して、事の吉凶を占うために引くものをいう。

<条 件>

○「七五三」の説明には、年齢、性別を含むこと。
○ 日本の伝統行事は本文以外から挙げること。

2. 下線部の王朝文学の美的理念を一つ挙げ、その理念の特徴を書きなさい。また、ⓐとⓑに該当する作品名と文芸雑誌名を漢字で書きなさい。[5点]

近代の多くの作家は古典から多大な影響を受けており、作品の中にその様子を窺い知ることができる。例えば、谷崎潤一郎は、大正後期から日本的伝統美に傾倒し、王朝文学の息吹きを現代に生かした新しい境地を拓いた。長編小説の『(　ⓐ　)』では、大阪船場の旧家の四人姉妹の生き方を通して、日本の伝統と文化を絵巻物風に描いている。

また、芥川龍之介は、1916年、雑誌『(　ⓑ　)』に『鼻』を発表し、夏目漱石の激賞を受けたが、この作品は『今昔物語集』と『宇治拾遺物語』に基づくもので、異様に長い鼻を持つ僧の心理の明暗をユーモラスに描き分けながら、傍観者のエゴイズムをあばいている。

한국교육과정평가원

3. 〈B〉は〈A〉のメールに対しての返信である。〈B〉の内容を参考に、〈A〉のメールを完成させなさい。[5点]

〈A〉

△△高校 高木美穂先生

ご無沙汰しております。いかがお過ごしですか。
私どもはおかげさまで元気にしております。
早速ですが、今年の貴校の本校訪問につきまして、いくつかお聞きしたいことがありましたので、メールをいたします。

それでは、よろしくお願いいたします。

〇〇高校 李ハナ

〈B〉

〇〇高校 李ハナ先生

李先生、こんにちは。
メール早速拝見いたしました。ありがとうございます。
おかげさまで私どもも元気にしております。
もう６月に入り、そろそろ恒例の韓国訪問の準備に取りかかろうとしていたところに、李先生からのメールが届きました。いろいろとお気遣いいただき、本当に感謝しております。
さて、お問い合わせの件は、以下の通りです。
内容をご検討の上、ご返信ください。

・日程：2014年８月４日～７日（３泊４日）
・人数：28名（※男子12名、女子14名、女性教諭２名）
・希望の見学先：お任せします。

それでは、よろしくお願いいたします。

△△高校 高木美穂

<条 件>

○ 返信に書かれている情報を必ず問い合わせること。
○ メール全体の文体を統一すること。

4. 次を読み、筆者の主張とその根拠を要約して書きなさい。[5点]

言語学の世界では、ある言語のほうが他の言語よりも、本質的に優れている、ということはありません。もちろん、形態的にどちらの言語のほうが複雑ということはあります。たとえば、ロシア語やナバホ語は、中国語に比べたら、語形変化などはずっと複雑です。だからといってロシア語のほうが難しいということはなく、中国語は別の側面(たとえば音調)が複雑で、全体としては、複雑さは変わらないと考えられています。ましてや、どちらが優れているか、というのは、科学的には決めようがない。つまり、世界の言語はすべて平等です。

言語の優位性についてよく誤解されるのが、科学技術の議論ができない言語がある、という事実です。そのような場合は英語など、他の言語を使わなければならないので、その言語は劣っている、というわけです。しかしこれは、「言語そのもの」に問題があるのではなく、科学技術の語彙がその言語にはまだ導入されていないので、英語などの教科書を使ったほうが(短期的には)早い、というだけのことです。

日本でも、江戸時代に初めて西洋の学問が入ってきたときには、同じ問題がありました。オランダ語の医学書を訳した蘭学者の苦心はよく知られています。今では日本語で科学技術を扱うことはできない、などと考える人は誰もいません。必要さえあれば、世界のどの言語も、科学技術を扱えるようになるのです。

－白井恭弘、『ことばの力学ー応用言語学への招待』

한국교육과정평가원

논술형 【1 ~ 2】

1. (A)의 ⓐ~ⓓ를「部屋を使う」動作主の観点から二つに分けて説明しなさい。また、(B)~(D)は述語の文法的な違いに注目し、それぞれ比較して説明しなさい。[10点]

(A)
- ⓐ わたしは木村さんに２階の部屋を使わせられた。
- ⓑ わたしは木村さんに２階の部屋を使ってもらった。
- ⓒ わたしは木村さんに２階の部屋を使わせてあげた。
- ⓓ わたしは木村さんに２階の部屋を使わせてもらった。

(B)
- ⓔ わたしは２階の部屋を使った。
- ⓕ わたしは木村さんに２階の部屋を使われた。

(C)
- ⓖ 木村さんは２階の部屋を使った。
- ⓗ 木村さんが２階の部屋を使ってくれた。

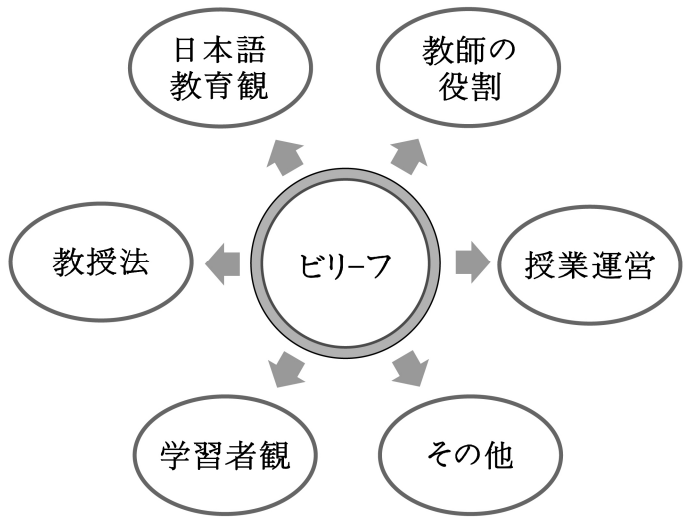
(D)
- ⓘ わたしは木村さんに２階の部屋を使わせた。
- ⓙ わたしは木村さんに２階の部屋を使わせてあげた。

(A)	
(B)	ⓔとⓕ：
(C)	ⓖとⓗ：
(D)	ⓘとⓙ：

2. 教師が抱いているビリーフ(belief)は、教授・学習において極めて重要な要素である。〈A〉を参考に、〈B〉と〈C〉の教室活動を比較しつつ、教師１と教師２の日本語教師としてのビリーフについて述べなさい。また、それについてのあなたの考えを書きなさい。[10点]

〈A〉

ここでいう「ビリーフ(belief)」とは、指導の内容や過程などに関して教師が抱いている信条、または確信のことである。「ビリーフス(beliefs)」ともいう。



＜ビリーフのイメージ＞

한국교육과정평가원

〈B〉

〈日本語教師１の教室活動〉

教師１：みなさん、今日は「～たことがある」と「～たことがない」について勉強します。この表現は「経験」を表します。経験を表しますから、動詞の「～た」形を使って、「何々したことがあります」といいます。経験がないときは、否定形を使って「何々したことがありません」といいます。それじゃ、練習しましょう。「書く」は「書いたことがあります」。

学習者全体：「書いたことがあります」

教師１：「食べる」は「食べたことがあります」。

学習者全体：「食べたことがあります」

教師１：「する」は？

学習者全体：「したことがあります」

教師１：「行く」

学習者全体：「行ったことがあります」

教師１：「日本へ行く」

学習者全体：「日本へ行ったことがあります」

教師１：「アメリカ」

学習者全体：「アメリカへ行ったことがあります」

教師１：「中国」

学習者全体：「中国へ行ったことがあります」

（パターン・プラクティスを続ける）

…（中略）…

教師１：みなさん、よくできました。では、教科書を一緒に読みましょう。わたしの後について読んでください。

「渡辺さんは、京都へ行ったことがありますか」

学習者全体：「渡辺さんは、京都へ行ったことがありますか」

教師１：「はい、あります」

学習者全体：「はい、あります」

教師１：「鈴木さんは、どうですか」

学習者全体：「鈴木さんは、どうですか」

教師１：「私は一度も京都へ行ったことがありません」

学習者全体：「私は一度も京都へ行ったことがありません」

（音読を続ける）

…（中略）…

教師１：では、本文の意味を確認しましょう。

「渡辺さんは、京都へ行ったことがありますか」

「와타나베 씨는 교토에 간 적이 있습니까?」

（翻訳を続ける）

…（中略）…

教師１：では、最後に作文をしてみましょう。教科書の89ページの韓国語を「～たことがある／～たことがない」を使って作文してください。Aさんは１番、Bさんは２番、Cさんは３番の問題の答えを、前に出て、黒板に書いてください。

〈C〉

〈日本語教師２の教室活動〉

教師２：みなさん、わたしは、去年、日本へ行きました。富士山を見ました。わたしは日本へ行ったことがあります。富士山を見たことがあります。Aさん、どこへ行きましたか。

学習者A：わたしは、慶州へ行きました。

教師２：Aさんは慶州へ行きました。Aさんは慶州へ行ったことがあります。

…（中略）…

教師２：「～たことがあります」は、動詞の「～た形」＋「～ことがあります」。経験の意味です。「～た形」は勉強しましたね。それでは、みなさん、ペアになって練習しましょう。右の人は学生です。左の人は先生です。先生は問題を出してください。

学習者B：「食べます」

学習者C：「食べたことがあります」

（学習者どうしがペアになって練習する）

…（中略）…

教師２：わたしは村上春樹に会ったことがあります。サインももらいました。みなさんは、特別な経験がありますか。クラスの中で、自分と似ている経験をした人を探してグループを作ってください。教室の中を歩いて、いろいろな友達と話しましょう。

学習者D：わたしはヨーロッパへ行ったことがあります。Eさんは？

学習者E：わたしもヨーロッパへ行ったことがあります。

…（中略）…

教師２：みなさん、グループになりましたね。それでは、グループで自分の経験を話しましょう。グループの友達の話を聞いて、質問をしてください。言いたいことばが日本語でわからないときは、わたしを呼んでください。

（グループ活動。教師は各グループを回りながら学習者がわからないときには助ける）

学習者F：わたしはバンジージャンプをしたことがあります。

学習者G：あ、わたしもありますよ。

学習者F：あ、そうですか。Gさんはどこでしましたか。

…（中略）…

教師２：それでは、各グループの特別な経験を、グループで一人ずつみんなに紹介してください。

学習者H：FさんとGさんは、バンジージャンプをしたことがあります。Fさんはとてもおもしろかったと言いましたが、Gさんは怖かったと言いました。

…（中略）…

教師２：それでは、みなさん、今日の授業で学んだことを内省シートに書いてください。友達の表現でよかったこと、自分がもっと勉強したいこと、先生への質問などを書いて出してください。

<수고하셨습니다.>

한국교육과정평가원